

第9回

円空大賞展 Spirit of ENKU

関連イベント2

2月17日(土) 18(日) 2days



14:00-

多目的ホール

事前申込不要 無料

舞踏と円空の遭遇

エンリケ・オリベイラの作品から醸し出される円空の魂と舞踏が出会った。その先にあるものは...

出演 舞踏家：工藤丈輝（東京戯園館）
音響・照明：曾我傑



お問い合わせ



県民文化の森 **岐阜県美術館**
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 Tel.058-271-1313 Fax 058-271-1315 URL <http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp/>

エンリケ・オリベイラ Henrique Oriveira (第9回円空大賞作家)

ブラジル サンパウロ出身。ブラジルで伝統的に使われる建材の合板の廃材などを収集して、巨大な彫刻作品を手がけるブラジルのアーティスト。アートギャラリーや、住宅の壁・床一面を覆い尽くすように木材をつなぎ合わせ、奇妙な光景を作り上げるインスタレーションは、ダイナミックかつ躍動的だが、柔らかく温かみを感じさせる不思議なインパクトを持つ。

この度、第9回円空大賞を受賞し、初来日。1月5日から多目的ホールにて約1か月間の滞在制作。日本初公開となるダイナミックな作品が岐阜県美術館多目的ホールに出現。



工藤 丈輝 (東京戯園館)

1967年仙台市出身 慶応大学仏文科卒。在学中より演劇、ダンス、日舞を学ぶが、1989年、舞踏との出会いが以後の進路を決定付ける。玉野黄市、和栗由紀夫作品に出演ののち、1992年よりソロ活動を開始。1995～1998年山海塾に参加。1997年には自らの集団「東京戯園館」を設立。さまざまな分野のアーティスト、カンパニーと関わりつつ、ソロをメインに世界各地で持続的に公演を行っている。

主な作品に「業曝」(’07)、「奇譚監房」(’08)、「荒漠器」(’10)、「光ふる廃園」(’11)、「工場」(’12)、「降海の夢」(’13)、「敗北の傘」(’14)、「異」(’15)、「恐怖の恋」(’17)などがある。

昨年、平井堅の新作「ノンフィクション」のミュージックビデオに出演。魂の歌と魂の舞が強烈なインパクトを残し話題となった。



曾我 傑 (office S.O.G.A.)

愛媛県出身、名古屋の office S.O.G.A.代表、15歳頃まで音楽の基礎を祖父と父から学び、後に多くの演奏法や音楽表現を学ぶ。

70年代より作曲活動をはじめ、広く演劇、舞踏、ダンス、諸イベント、各地の芸術祭などに多角的に関与し今日に至る。近年は自身のプロジェクト「アジア・トライ」をインドネシア、日本、韓国などアジア一円で展開中。

工藤丈輝との共作も多数。

